



国立大学法人

宮城教育大学 附属図書館ニュース

ISSN 1348-1525

# こもれび

## KOMOREBI

MIYAGI UNIVERSITY OF  
EDUCATION LIBRARY NEWS

No.126  
2014.7.22 発行

### 特集

## ラーニング コモンズ その1

### CONTENTS

- 02 図書館インフォメーション
- 04 特集 ラーニングコモンズ その1
- 08 歴史のなかの教科書
- 10 子ムエの本棚
- 14 私と本
- 16 宮教大図書館の裏話  
本学教員等著作寄贈図書一覧  
平成26年度図書館開館カレンダー





# 図書館 Library Information インフォメーション

## 教科書の貸出はじめました

6月2日から、学校で現在使われている教科書の貸出を始めました。  
小学校・中学校の教科書で同じものが2冊あるものを、貸出します。  
一人1冊翌日までの貸出をします。  
大学のみんなが使うので、ルールを守って利用しましょう。



(左) カバー+禁帯出のラベル 貸出不可  
(右) カバー、ラベルなし 貸出 OK

## 延滞の罰則を緩和しました

4月から、返却が遅れた際の罰則を緩和しました。返却予定日から7日以内に返却すれば、罰則がつきません。8日目から、遅れた日数と同じ日数(最長30日)貸出停止となります。  
正面玄関の返却ボックスやマイライブラリの延長サービス等を利用して、なるべく返却期限に遅れないように、資料をご返却ください。

## Live rally 本で広がる心のやり取り 読書ポイント復活です!

7月1日から、読書ポイント制度を実施します。図書の返却1冊を1ポイントに換算します。ポイント数に応じて景品と交換できます。  
今回のキャンペーンは「Live rally 本で広がる心のやり取り」を目指します。返却時にその図書の感想コメントをつけてくれると+1ポイント。コメントは掲示板や図書館フェイスブックで公開します。感動した・レポートに役立った・授業計画に役立ったなど、あなたの読書をみんなとラリーしましょう。



ポイント交換景品イメージ

## 平成26年度特別展示企画 「歴史のなかの教科書～英文法から英会話重視～」 を開催します!

7月31日(木)から8月25日(月)まで教科書の特別展示を開催します。毎年開催している教科書の特別展示企画ですが、今回の展示では明治から現代までの英語教科書を、その時代の解説とともに展示します。その時代時代の日本の状況が、英語教科書の内容に大きく影響を与えていたことを紹介するほか、英語教育が、文法中心から会話中心に変化してきたことを紹介します。実際手にとって読むこともできる教科書を多数展示するほか、関連する電子書籍など参考資料も展示するので、英語好きな方も歴史が好きな方も楽しめる展示会です。

会場となっている展示ホールには休憩できるスペース、ライブラリーカフェもあります。ぜひお越しください!(入場無料)



## グリーンカーテン成長中です

5月7日に、図書館南側にきゅうりと朝顔の苗を植えました。成長が楽しみです。苗を植える前に、今年は、すべてのプランターに、幼児教育コース1年生のみなさんが「いのちの粘土団子」(注)をまきました。どのプランターにも小さい芽がたくさん出ています。

成長の様子は、グリーンカーテンのフェイスブックでお伝えしています。ちょっと疲れたときに、緑のパワーでほっこりしてください。

<https://www.facebook.com/MUEL.GreenCurtains2013>

(注)色々な種が入っている固い泥団子



## iPadの貸出好評です

昨年から実施しているiPadの貸出、好評です。利用できる場所は館内のみで、また使用できるブラウザはSafariのみとなりますが、閲覧席でのちょっとした調べものに、ぜひご活用ください。お申し込みはカウンターまで。



## 館内での飲食・会話のルールを明確にします

4月1日に、図書館1階にスパイラル・ラボ(詳しくは今号の特集p.4-7をご覧ください)が完成しました。それに伴い、おしゃべりと、飲食のルールを明確にしました。

1階はアクティブに、2階は静かにじっくり、が基本コンセプトです。夏休みには、2階の閲覧机を「一人でじっくり」勉強できるように入れ替える予定です。食事が可能なのは1階ライブラリーカフェのみですが、ペットボトル・水筒などの持ち込みは、ほぼ全館で可能としました。

| マナーを守って気持ちよく！      |               |                |     |               |        |
|--------------------|---------------|----------------|-----|---------------|--------|
| 各階層<br>ルール<br>一覧   | 飲める<br>お茶の飲み物 | 飲めない<br>お茶の飲み物 | 食べる | 話し合い<br>おしゃべり | 携帯電話   |
| ライブラリー・カフェ         | ○             | ○              | ○   | ○             | 通話OK   |
| スパイラル・ラボ<br>読本・数科室 | ○             | ×              | ×   | ○             | 通話OK   |
| 閲覧席 (1F・2F)        | ○             | ×              | ×   | 小さな声で         | マナーモード |
| 閲覧席 (2F)           | ○             | ×              | ×   | ×             | マナーモード |
| サイレントエリア<br>(2F 奥) | ○             | ×              | ×   | ×             | 通話OK   |
| マルチメディア室           | ×             | ×              | ×   | ×             | マナーモード |

## スパイラル・セッションご参加ください

昨年度まで開催していた図書館教養講座を、スパイラル・ラボの開設とともに「スパイラル・セッション」にあらためました。学生のみなさんの読書の幅を広げ、かつ様々な体験の場を提供していくための場が「スパイラル・セッション」です。座学のみでなく、実践と組み合わせることで知識をより深めていただき、将来的には読書推進ができる教員養成の支援となることを目指しています。初回と第2回は「ストーリーテリング」をテーマとしました。こちらの様子は今号の「子ムエの本棚」(p.10-13)をご覧ください。

# ラーニングコモンズ その1

平成26年4月1日、ラーニングコモンズの第一期分としてスパイラル・ラボが宮教大図書館にオープンしました。もう静かに本を読むだけが図書館ではありません。スパイラル・ラボを中心とした施設を利用しながら、どんどん学習・研究を進めていきましょう。

## 教室

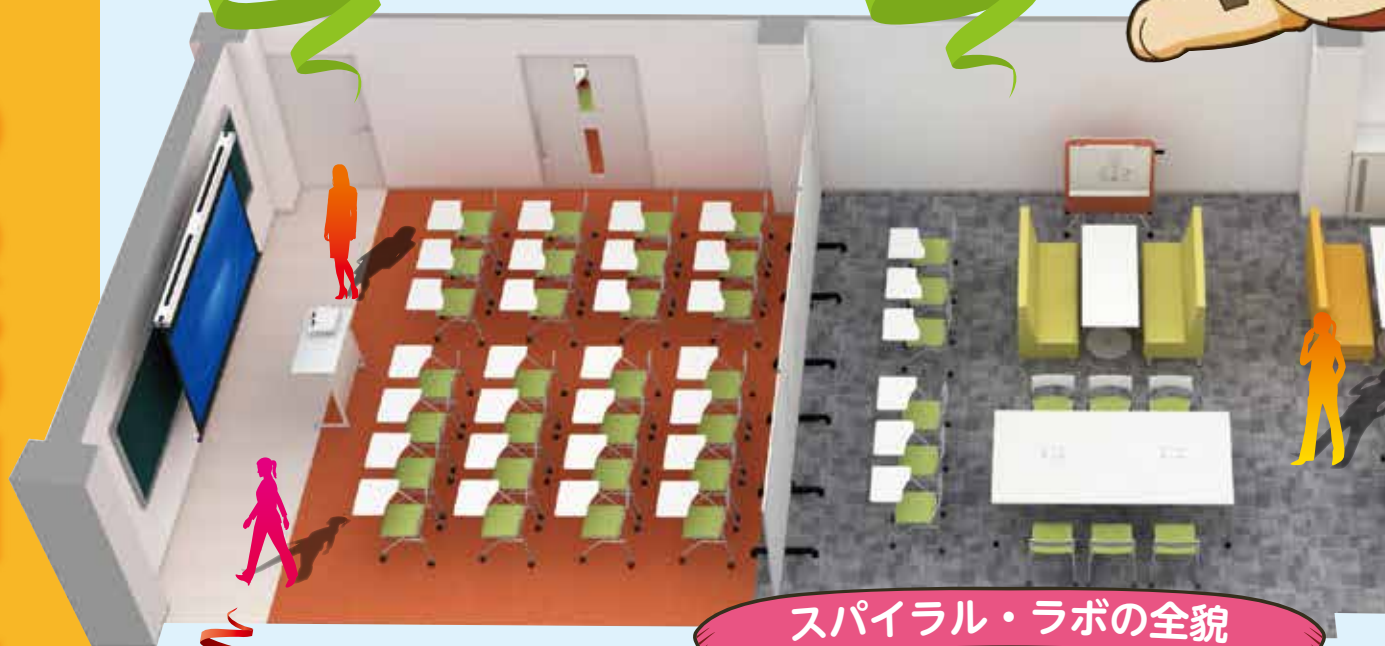
50人まで座れる模擬教室を設置しました。小学校サイズの黒板があるので、板書練習などに、自由に使えます。

紹介 1 2 へ!

## ボックス席・グループ席

グループで相談しやすいボックス席、みんなで作業するのにうってつけの大テーブルのグループ席です。ホワイトボードや、ミニプロジェクターも活用してください。

紹介 6P 4 へ!



スパイラル・ラボの全貌

### ①「スパイラル・ラボ」について

英語教育講座 特任准教授 根本 アリソン

今年の4月からオープンした黒板のあるスパイラル・ラボの教室を週二回使わせて頂いています。初等英語コミュニケーションコースの学生の授業などにぴったりなスペースです。黒板が大きくて、ホワイトボードが何枚も準備されて、パソコンやスクリーンも使いやすいです。とくに椅子を自由にアレンジできるのは大きなポイントです。下はカーペットですから地べたに座ることもできて、活動のアイデアが本当に広がります。この場所を使うことで実際、学校の教室の雰囲気が出て、学生の模擬授業でも、より現場に近い体験を味わうことができると思います。





#### ラーニングcommons:

グループ学習やディスカッションなどの主体的な学習を行なうための大学の共有・共同スペースのことです

#### スパイラル・ラボ:

教科書・指導書コーナーでの指導案作成→模擬教室での実践→グループ席での議論による仲間からのフィードバック、と循環しながらどんどん成長してほしいとの意図が込められた名称です

## セミナールーム

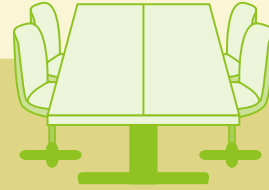
6人くらいまで利用できる個室です。ゼミのほか、1人でこっそり授業の練習にも使えます。

紹介  
7P 6へ!

## 教科書・指導書コーナー

教科書を広げてすぐに確認できます。教材作成用の貸出用文具も揃っています。

紹介  
7P 5へ!



## ②大学の部活動におけるスパイラル・ラボの活用

宮城教育大学 硬式野球部 主将 山口 凌



我々宮城教育大学硬式野球部がともお世話になっているスパイラル・ラボについて紹介します。野球部と図書館というのは、一見結びつきが無いように思われますが、その関係を、

日ごろの感謝の気持ちを込めてつづ記します。

はじめに硬式野球部の紹介をさせていただきます。我々の活動における最大の魅力は「集団自治活動」という点にあります。簡単に説明すると、自分たちの部活動を運営していく上で必要な活動、実際にグラウンドでプレーすること以外のことも自分たち学生で話し合い、決定し、責任を持って取り組んでいくという活動方針です。この方針においてはミーティングが最も大事な活動になります。このミーティングを行う際に図書館のスパイラル・ラボを活用させていただいています。

我々がミーティングをする場にスパイラル・ラボを選ぶ理由は大きく2つあります。

1つ目は22時という夜遅い時間まで利用できることです。練習が終わってからミーティングを行うと終了時刻が遅くなります。練習時間とミーティング時間の両方を確保したい我々にとって遅い時間からの利用にも快く応じてくれる施設の存在はとてありがたいです。

2つ目は映像機器を活用できることで、それによって話し合いに適した場を作ることが可能だということです。大会期間中などは対戦相手の映像を分析しながらのミーティングを多くひらきます。スパイラル・ラボではプロジェクターを利用することで50名弱という大人数が同時に同じ映像を観ることができます。移動式の机といすを用いることで少人数のグループを編成し、映像を観ながら意見を出し合える場を作ること可能です。これは他の教室などではなかなか用意できない環境であり、ミーティングの効率化、内容の精度の向上に大きく貢献していると思います。

図書館といえば「しゃべっちゃダメ!」という場所というイメージですが、宮教のスパイラル・ラボはこのような話し合い活動を応援してくれる場所です。そんな素敵な場を提供していただいているからには、次のリーグ戦では結果を残し、図書館の方々に良い報告をしたいと思います!

また、この記事を読んでくださった宮教の部活、サークルなどに所属している人がスパイラル・ラボという素晴らしい場に興味を持ち、より多くの人たちが活用してくれることを願います。



## 電子黒板

2人まで同時に操作できる電子黒板です。壁に字が書ける魔法使いの気分をぜひ気軽に楽しんでください。

紹介  
6P 3へ!

## 予約をしたいときには!?

スパイラル・ラボの予約状況は、インターネットで確認できます。

前日17時までの状況ですが、使いたい!と思ったときに、ぜひご活用ください。

[図書館HP](#) > [各種申込](#) > [施設予約](#) から

### ③授業で活用:電子黒板

武山愛(A) 英語コミュニケーションコース4年  
及川いずみ(I) 英語コミュニケーションコース4年  
鈴木渉(W) 英語教育講座准教授

- A:今年4月から図書館がリニューアルされて、スパイラル・ラボができたね。  
I:ゼミでいつも使ってる場所ですか?  
A:そうだね。ゼミでは主に電子黒板つきグループ席を使って発表してるよね。  
I:パソコンに繋げて、壁に映像を写しながら発表できるやつですよね。スクリーン上で操作できる電子黒板って便利ですよね!  
A:あの電子黒板、壁に直接文字も書けるんだよね。W先生が触れるといつでもスライドが次のページにいつちゃうよね(笑)  
I:実際、いま多くの学校に電子黒板やデジタルテレビが導入されていて、デジタル教科書も普及しているらしいですね。  
W:そうですね。平成23年4月28日に文部科学省から「教育の情報化ビジネス〜21世紀にふさわしい学と学校の創造を目指して〜」が出されて、現在、学校現場ではICT環境の整備が進められているんです。  
I:W先生、ICTのメリットって何ですか?  
W:うーん、一番大きいメリットは、教材や資料を大きく映すことができることじゃないかな。電子黒板は、スクリーン上を直接操作することも大きなメリットだね。プロジェクターではできない機能が満載だね。例えば、直接さわった場所から音声を出したり、物を動かしたりすることができるし。  
A:将来教師を目指す私たちも、授業で使えるようにフラッシュカードやピクチャーカードを使ったり、イラストを素材にしてオリジナルの教材を作成したりできるようにならないといけないんですね。  
I:授業で、ICT技術を積極的に活用できるようにならなくちゃ。  
W:その通りですね。教科指導におけるICT技術の活用は、今後の教員の免許のあり方にも重要な課題ですね。教員養成大学の本学としては、現在、教育委員会等と連携しながら、教員養成力



リキュラムの開発に取り組んでいるところです。

- I:W先生のまじめな話はおいておいて(笑)。スパイラル・ラボ、居心地がよすぎて、たまに眠さで意識が飛びま…おっとあぶない(笑)そんな時にはドリンクを飲みつつまた頑張る、と。良いスペースです。  
A:そうだね、丁度良い広さでディスカッションもどんどん進むよね。密閉できる容器の飲み物なら持ち込んで飲んでいいのも、居心地の良い理由の一つだね。食べることはできないけど、そこはみんなが清潔で快適に過ごせるためにも守りつつ。  
I:そういえばスパイラル・ラボには模擬授業ができるスペースもありますよね!わたしたち英語コミュニケーションは、異文化理解講読Dでいつも使っています。机が一緒になったイスなので、グループディスカッションもやりやすいです。  
A:iPad10台、ビデオカメラ、書画カメラ、プロジェクター、Apple TVも借りることができるらしいよ。これらを在学中に使いこなせるようになるといいな。  
W:そうですね。学生みんなが、授業や実習を通して、ICT機器にふれる機会の充実を図っていきようにしたいと思います。それに対応しているのがこのスパイラル・ラボという訳なんです。  
A&I:授業じゃなくても、勉強や友達同士で模擬授業をしたい時など、予約をしなくても部屋が空いていれば自由に使えるから、みなさんもぜひぜひ気軽に使ってみてくださいね♪



### ④自主ゼミで活用:グループ席・ボックス席

数学教育専攻4年卒業研究自主ゼミにて使用中。  
藤原(かんご)、岩淵(ぶっち)、張山(ハリー)、  
葛西(MAYA)、船水(ふなはる)

- かんご:スパイラル・ラボ、しばらく自主ゼミに使ってるけどどう?  
ぶっち:かんごに勧められてから使ってるけど良いスペースだね。大きなテーブルを広々と使えて、小人数で話し合うならもってこいだと思うよ!  
ハリー:環境が良いよね。明るいし温度湿度も快適。寒くて集中できない教室もあるからな…  
MAYA:そうそう!  
ふなはる:ホワイトボードで意見を共有できるところが好きだな。教室にある黒板だとチョークの粉が服についちゃって…女子にはこっちのほうが助かるな。  
MAYA:そうそうそう!  
ぶっち:MAYAはそうそう!しか言ってないね(笑)  
かんご:まあまあ、いつも通りだよ(笑)俺は自習でもよくこのファミレス風の席を使ってるよ!椅子の座り心地が良いんだよね。  
ふなはる:良いこと聞いた!今度からここで自習するようにする!  
ハリー:図書館ではよく勉強するけどあまりここには入ったことなかったな。リニューアル前は少し



入りにくい雰囲気があった。

- MAYA:そうそうそうそう!  
かんご:そういう人多いよね、きっと。でも新しくなってからは色々な人が使ってるところを見るよ。授業でもよく使われてるようだし。  
ぶっち:おお!この証明本当におもしろい!ここをこうして…ヤコビアン公式使って変換して…行列式を…  
一同:話聞いてた!?  
ハリー:あと、ホワイトボードが仕切りになっているところも良いよね!ボードは足りなくなったら追加できるし。数学の証明ってどうしても長くなるから助かるよね。これから使い続けたいね!  
かんご:さすがハリー!よくまとめてくれた!ってことでみなさんぜひ話し合い等にスパイラル・ラボを使ってみてくださいねー!



ちよっと  
ひとやすみ…

図書館の外にパラソルが  
2台設置されました!  
ご活用ください♪



## ⑤ 教育実習や採用試験で活用できる！ 教科書・指導書コーナー

図書館ボランティアMUES  
英語教育専攻3年

修曦(トン シイ)

教科書・指導書コーナーは、教育実習を控えている学生はもちろん、教科書や指導書などを使いたい利用者全員が利用しやすくなるようにリニューアルしました。

場所は図書館の1階です。ここでは、小・中・高等学校の教科書だけでなく、教師向けの指導書や教育実習向けの参考書などが閲覧できます。大学の公式キャラクターみやっさよ先生が目印です☆

今回の館内改装で工夫された点をいくつか紹介します。今まで教科書・指導書コーナーは、絵本コーナーと一緒になっていましたが、この度、絵本コーナーは1階奥に引っ越しました。以前は机が小さく、教科書などが山盛りに積み上げられ、また座席数が少ないので、立ち読みも頻繁にありました。絵本コーナーが引っ越した結果、大きな机と椅子が新しく設置され、座席数も大幅に増えました。机は二種類ありますが、少し高め机は立ち読みなど少し確認しておきたいときに使い、疲れたら椅子にも座れます。赤いクッションのついたスツールにも注目です。実はその引き出しには文房具が収納されています。ホチキス、カッター、カッティングマット、はさみ、スティックのり、定規などがあります。よく利用者がカウンターに借りにくるものを、ここに常備しました。一方、普通の高さの机は主に集中して課題に取り組みたいときに使うように考えられています。大きなカッティングマットも常置さ



れているので、教材作成にも対応しています。テーブルと椅子の色はホワイトとオレンジで統一され、丸みを帯びたモダンなデザインで、スタイリッシュな印象です。机のそばにはコンセントがいくつもあり、パソコンなどの充電も可能なので、長時間の作業もできるようになりました。

実際に使用した学生にインタビューを行なったところ、次のような声が寄せられました。



教科書・指導書コーナーの近くには、スパイラル・ラボがあり、指導案などを作成してから、実際に模擬授業へスムーズに展開できます。全体的に図書館のキャッチコピー「Live rally ～本で広がる心のやり取り～」を意識した設計となっています。

## ⑥ いろいろ活用できる！ セミナールーム

幼児教育講座教授

佐藤 哲也

図書館に鏡張りのセミナールームが新設されました。早速、幼児教育コース3年生が利用してみました。学生達がワイワイとやり取りをしています。



図書館の奥にあるから、集中できるね。  
パソコンも使えるし、環境抜群。  
文献や資料をすぐに探しに行けるから便利。



この鏡も何かに使えそうだよ。  
鏡を使って絵本の読み聞かせを練習すると、  
絵本の持ち方や角度が確認できるし、  
子どもからの見え方や自分自身の表情が分かるね。  
実習や実技試験の前に練習できそう。  
室外の音が入ってこないから、練習に集中できるし、  
防音がしっかりしているから、私たちの声も外に漏れにくそう。  
みんなと意見を交換しながら練習できるね。  
テーブルを寄せると、意外と広いスペースになるよ。  
さあどうしよう?

そうだ、模擬保育をしてみない?  
音楽を流して、ダンスの練習をしようよ。  
鏡に姿を映しながら、動きを考えよう。

模擬授業もできそう。  
そうだ、サブゼミしようよ。  
来週、私、ゼミのレポーターなの!!!



素晴らしい環境に学生たちは大はしゃぎ。さて、このスペースでどんな学びや活動、出会いが展開していくのでしょうか……楽しみですね。

### 和算から算術・算数と数学へ

宮城教育大学 名誉教授 萬 伸介

明治の時代に入り、日本は西洋各国の科学・技術を移入することになります。もちろん、教育に関しても明治5（1872）年に学制頒布があり、西洋数学が学校教育に導入されたのです。それは、学制（明治五年八月三日文部省布達十三号別冊）の第二十七章に下等小学教科として十四の教科を示していますが、その九番目に「九 算術九々數位加減乗除但洋法ヲ用フ」と記載されていることから明らかです。ここで、「洋法」とは西洋数学の流儀・手法ということを表し、西洋数学を「洋算（ようさん）」と呼ぶことと関わりがあります。江戸時代に華やかに花開いた日本の数学（算術）は、洋算に対応させて、「和算（わさん）」と呼ぶようになりました。江戸時代、「塵劫記」や「算法新書」などは和算の教科書と言えるもので、版を重ね多くの人に読まれました。教育現場に洋算が導入されることは私塾・寺子屋や郷学（ごうがく）・藩校などで学ばれていた和算の終焉を意味することになりますが、実は、洋算導入は和算の素養を持った方々によって成されました。その中心となった一人は菊池大麓（旧東京大学教授、文部大臣を務めた方）で、彼は明治10（1877）年の「東京数学会社」（日本数学会の前身、後に日本数学物理会社と改組）設立にも関わりました。菊池をはじめ和算家の川北朝鄰や福田理軒などが加わったこの会で数学用語の訳語を決める作業が行われました。多くの人びとが和算を学ぶことで、高い数学の素養を日本人は持っていました。このことが、初期の困難な教育現場を乗り越えさせる背景となりました。すばらしいことです。

明治37（1904）年より、小学校の教科書が第一期国定教科書となります。このときは「算術」でしたが、第五期国定教科書では「算数」となっています。中等教育の「数学」教科書も徐々に発行され、大正8（1919）年には「日本中等教育数学会」が創立されました。初代会長は東北帝国大学教授の林鶴一でした。林は数学の研究以外にも中等教育の教科書を数多く著し、さらに、和算研究にも尽力した方です。

国定教科書は、明治～大正～昭和初期の「黒表紙」教科書、昭和十年代の「緑表紙」教科書、第二次世界大戦下の「水色表紙」教科書、と続いてきました。戦後は、昭和22（1947）年公布の学校教育法を受けた各校種の学習指導要領に基づく検定教科書の時代となったのです。戦後の単元学習、系統学習、現代化、基礎・基本、ゆとり教育、生きる力などのキーワードはその時の社会情勢に関わりがあり、種々の評価が成されていますが、その下で教科書や授業の改善に学校現場の教員が努めてきたのです。その結果として、日本において今日行われている算数・数学の授業、授業研究が世界の数学教育の現場から注目されるようになりました。和算を今の教育に生かそうという試みや現代数学の導入などの努力により、教員の方々の教科書・授業改善は日々進行中なのです。

和算の時代から現在までの教科書の歴史は、その時々を反映するものですが、教育に関わった各方面の方々の歴史でもあることを忘れないようにしたいものです。



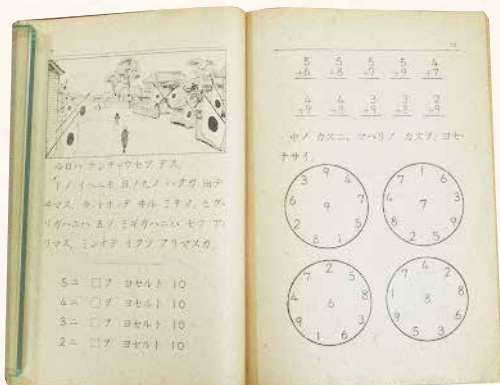
## 1 『新編 あたらしいさんすう 1』

杉山吉茂、飯高茂、伊藤説朗 他編  
東京書籍、平成16(2004)年1月検定済、平成17(2005)年2月発行

## 『新編 新しい数学 1』

杉山吉茂、俣野博 他編  
東京書籍、平成17(2005)年2月検定済、平成18(2006)年2月発行

平成10(1998)年告示の小学校・中学校の学習指導要領のキーワードは「生きる力」であった。完全学校五日制が始まり、「算数的活動」、「数学的活動」が重視された。その後、平成20(2008)年には現在の学習指導要領へと変わったのである。この時期より、カラフルで大版の教科書の時代となった。



## 3 『カズノホン 三』

モンブシャウ  
昭和19(1944)年2月5日文部省検査済、昭和19(1944)年2月18日翻刻発行

片仮名表記である。「児童用」と「教師用」と用意されていた。9頁から10頁には「5ニ □ ヲ ヨセルト 10」、「中ノ カズニ、マハリノ カズヲ ヨセナサイ」という表記があるが、加法の現在の表現では「よせて」と表記せず、場面により「あわせて」、「くわえて」と表記している。



## 5 『女子算術教科書』

林 鶴一 著  
東京開成館、大正14(1925)年12月発行

序は「戦近女子教育ノ発展ニ伴ヒ、…」と書き出されている。内容は、整数小数の計算、分数の四則、比と比例、複比、比例配分、歩合の計算、利息の計算、である。東北帝国大学の教授である林は中等教育の教科書を数多く著していた。本図書館に林鶴一著・監修の書籍が所蔵されている。



## 2 『改訂 あたらしいさんすう 一ねん』

彌永昌吉、三村征雄 監修  
東京書籍、昭和27(1952)年7月文部省検定済、昭和32(1957)年1月発行

## 『中学生の数学 第一学年全』

正田健次郎、塩野直道 編  
啓林館、昭和28(1953)年8月文部省検定済、昭和30(1955)年5月発行

「学習指導要領 算数科・数学科編(試案)」、「学習指導要領 算数科編(試案)」による「生活経験重視(単元学習)」として特徴付けられた時期の検定教科書である。『中学生の数学 第一学年全』は総頁数255であり、目次によると「Ⅴ 家計」、「1 家計簿」、「2 貯蓄」、「3 投資」と構成されている。その後、昭和33(1958)年の学習指導要領告示により「系統学習」と呼ばれる時期に入ることとなった。



## 4 『黒表紙教科書』『緑表紙教科書』『水色表紙教科書』

文部省  
黒表紙：尋常小學校 算術書 第三學年 児童用、大正15(1926)年2月翻刻発行  
緑表紙：尋常小學校算術 第四學年 児童用 上、昭和13(1938)年11月翻刻発行  
水色表紙：初等算数 三、昭和17(1942)年12月翻刻発行

明治から昭和初期までの国定教科書である。表紙の色から「黒表紙教科書」、「緑表紙教科書」、「水色表紙教科書」と称されている。明治38(1905)年から黒表紙教科書、昭和10(1935)年から緑表紙教科書が使用され、第二次世界大戦下で水色表紙教科書が使用された。それぞれ「文部省検査済」と記されている。「児童用」と「教師用」と用意されていた。



## 6 『算法新書』

校閲者：長谷川善左衛門寛、編者：千葉雄七胤秀  
文政13(1830)年庚寅秋8月刻成、明治13(1880)年3月三刻新鐫

「初学の人を上手く導く書」として評価され、江戸から明治時代まで何度も版を重ねたベストセラーである。編者の千葉雄七胤秀は現在の一関市花泉出身の関流和算家で、岩手県南部から宮城県北部の地域を中心に多くの人々に対して和算の指導を行い、後に一関藩士となった。

# 子ムエの本棚



子ムエの本棚は、児童書に関する話題をお届けするコーナーです。今回は、平成26年度第1回および第2回スパイラル・セッションの報告をかねて、子どもと本を結びつけるための手法の一つであるストーリーテリングの意義、実践方法等についてまとめました。ご指導くださった松尾福子先生から、学生の皆さんへのメッセージもいただきました。

## 身につけよう! ストーリーテリングの技

その1

### 理論編: ストーリーテリングをしよう

#### ～第1回スパイラル・セッション～

平成26年5月8日(木)、第1回スパイラル・セッションとして、ストーリーテリングを学ぶための講座「ストーリーテリングをしよう」が開催されました。講師をお願いしたのは、本学の司書教諭資格科目「読書と豊かな人間性」の授業担当教員で、まつお文庫主宰の松尾福子先生です。ストーリーテリングに関する様々な知識を教えてくださいとにも、実演もしていただきました。参加者は本学の学生約80名。学部1年生から大学院生まで、予想を越える人数の学生が会場のスパイラル・ラボに集まり、大盛況となりました。講義の概要は以下の通りです。

(報告: 幼児教育コース2年・奥山翠、家喜彩、阿部綾佳、高橋早智子、藤原香帆、武田栞璃、齋藤真帆)

講師



講師・松尾 福子先生

本学非常勤講師、「まつお文庫」主宰。

### 1 語りを楽しもう!

はじめに、松尾先生が私たちに次の五つの「おはなし」を語ってくださいました。

- ① 日本の昔話「おんちよろちよろ」  
(『おんちよろちよろ』瀬田貞二再話 福音館書店)
- ② アルフ・プロイセン「だめといわれてひっこむな」  
(『おはなしのろうそく9』東京子ども図書館)
- ③ イギリスの昔話「三びきのくま」  
(『三びきのくま』瀬田貞二訳 福音館書店)
- ④ 松岡享子「あくびがでるほどおもしろい話」  
(『おはなしのろうそく5』東京子ども図書館)
- ⑤ ルーマニアの昔話「りこうなおきさき」  
(『りこうなおきさき』岩波書店)

先生の手には絵本も台本もありません。どの「おはなし」も集中して聞くのに適度な長さであり、語り口調も「おはなし」の世界に引き込まれてしまうようなものでした。「語りは果実酒のようなもので、語りを重ねていくうちにその人に馴染むもの」と先生はおっしゃっていましたが、まさにそれを感じさせる語りでした。

### 2 なぜ今、子どもにとっておはなしが大切なの?

続けて、「今、子どもにとってなぜおはなしが大切か」ということについて、先生は次のように説明してくださいました。

本来、子どもは「おはなし」が好きです。作者や語り手の心を

伝える「おはなし」を楽しむことで、子どもは人間の心を受け取り、自分自身の心をつくりあげていきます。いつの時代も、子どもは身近な人から「おはなし」を聞いて育ってきました。しかし、現代では、テレビやその他のメディアの登場によって、家庭の中で「おはなし」が語られることが少なくなってきました。そのため、公共の場で「おはなし」を語り聞かせることが大切となったのです。また、「おはなし」を聞く体験は、「おはなし」を絵にする力、想像力とも関係してきますので、その後の子どもの読書にも大きくつながっていくと思います。

これを聞いて、生活の変化によって子どもが心をつくりあげる機会を失うことのないよう、いつでも誰でも身近な人の代わりとなって「おはなし」を伝えていくことが大切だと感じました。

### 3 おはなしのよさってなんだろう?

次に、「おはなしのよさ」についての解説がありました。

「おはなし」は、視覚イメージを提供するテレビと異なるのはもちろんのこと、ラジオとも、演劇とも、異なる点があるそうです。ラジオでは、物語は一方向的に流れるだけですが、「おはなし」の場合は、語り手と聞き手に相互作用が生まれます。お芝居は舞台上で物語が展開しますが、「おはなし」は語り手と聞き手の想像の中で物語が繰り広げられます。このような語り手と聞き手の心の交流が、「おはなし」のよさであるとのことでした。

また、よく「おはなし」と「読み聞かせ」を混同する人もいますが、本があるのとなないのとでは読み手と聞き手との精神的な距離が違ってくるそうです。

「おはなし」は、語り手と聞き手の心の交流を実現だけでなく、聞き手同士の心をもつなぐという説明もあり、読書とも異なる「おはなしのよさ」が印象に残りました。

#### 4 誰でも語り手になれる！

松尾先生曰く、3分でもいいから授業に「おはなし」を取り入れることで、児童・生徒の授業の集中力は変わってくるそうです。

それでは、どうしたら私たちは「おはなし」の語り手になれるのでしょうか。

人に何かを話したい、聞いてほしいと思った経験は誰にでもあるはずで、その気持ちこそが語り手になるための第一歩であるとのこと。難しく考えず、話したいという気持ちをもとに、よりよく語る工夫も怠らない姿勢を積極的に持つことが大切だと分かりました。

#### 5 おはなしを、選んで、覚えて、語るまで

最後に松尾先生は、ストーリーテリングをするための準備の仕方、「おはなし」を語るまでの過程について、具体的に教えてくださいました。その内容をまとめると、次のようになります。

##### ① 「おはなし」を選ぶ

「おはなし」を語るにあたって、はじめに「おはなし」を選びます。日本の話、外国の話などをたくさん読み、時間をかけて「おはなし」を選ぶことが大切です。最初は昔話を選ぶとよいとのこと。子どもの年齢を考えることも必要です。

##### ② 「おはなし」を覚える

「おはなし」は正確に覚えるように努力しなければなりませんが、大切なのは、単なる暗唱にしないことです。語り手は、聞き手にどんな風に伝えようか、どう読んだら「おはなし」に生命を吹き込むことができるのか意識しながら覚えます。

##### ③ 「おはなし」を語る

そして実際に語る際は、聞き手、語り手の両者がその物語を楽しみ、快い満足感にひたることのできる語り方が良いとされています。しかし、語り方は人によって様々であり、型としての正しい語り方があるわけではありません。

また、語り手自身が物語の世界にすべてを傾け、その中に入り込んでいかなければなりません。同時にその物語のうしろに立って聞き手に差し出す、まるで黒子のような存在でなければならないこともポイントです。

以上、松尾先生は松岡享子さん(注)の著書『お話とは』『おぼえること』『話すことーよい語り』をもとに講義をしてくださり、他にも「おはなし」選びやストーリーテリングについて学ぶのに役立つ本を何冊かご紹介くださいました。これらの本については下欄をご覧ください。

今回の講座は、私たちに「おはなし」の魅力と、子どもの成長にとっての「おはなし」の大切さを強く実感させるものでした。最後になりましたが、楽しい「おはなし」を語ってくださるとともに、ストーリーテリングの特徴・意義、実践方法等について詳しくご教示くださいました松尾先生に心から感謝申し上げます。

(注) 東京子ども図書館を設立。同館理事長。ストーリーテリングの第一人者。

### 第1回 スパイラル・セッション

## ストーリーテリングをしようで紹介された本

|                  |                                        |              |          |
|------------------|----------------------------------------|--------------|----------|
| ストーリーテリングを<br>学ぶ | 『ストーリーテリングー現代におけるおはなしー』                | 間崎ルリ子        | 児童図書館研究会 |
|                  | 『お話とは』『おぼえること』『話すことーよい語り』              | 松岡享子         | 東京子ども図書館 |
|                  | 『“グリムおばさん”とよばれて』                       | シャルロット・ルジュモン | こぐま社     |
| 「おはなし」を<br>選ぶ    | 『日本の昔話』①～⑤                             | おざわとしお再話     | 福音館書店    |
|                  | 『おはなしのろうそく』1～29                        |              | 東京子ども図書館 |
|                  | 『イギリスとアイルランドの昔話』                       | 石井桃子編・訳      | 福音館書店    |
|                  | 『ロシアの昔話』                               | 内田莉紗子編・訳     | 福音館書店    |
|                  | 『太陽の木の枝』『きりの国の王女』                      | 内田莉紗子訳       | 福音館書店    |
|                  | 『吸血鬼の花よめ』                              | 八百板洋子編・訳     | 福音館書店    |
|                  | 『子どもに聞かせる 世界の民話』                       | 矢崎源九郎編       | 実業之日本社   |
|                  | 『魔法のオレンジの木』                            | 清水真砂子訳       | 岩波書店     |
|                  | こぐま社『子どもに語る昔話』のシリーズ(『子どもに語る グリムの昔話』ほか) |              |          |
|                  | 岩波書店のおはなしの本のシリーズ(『山の上の火』『まほうの馬』ほか)     |              |          |



## 児童書この一冊! 図書館の児童書の中から、新しく入った新刊本やおすすめの一冊を紹介します。

### 『ねこのはなびや』

渡辺 有一 フレーベル館 2001年  
資料番号J91 /ネ/81 資料ID 13102528

夏の風物詩といったらやっぱり花火ですよ。今夜は「しろねこぐみ」「くろねこぐみ」「とらねこぐみ」が技を競う花火大会。花火屋の仕事は準備が大事。当日も目が回る忙しさ!そして夜空に浮かんだ数々の花火の素晴らしさといったら!!花火大会に行く前に読んだら、いつもと違う視点で花火を見られそう、そして花火大会に行った後読んだら、実際に見た花火の感動を何度でも思い出せそう、そんな絵本です。



Pick up!

### 『ポプラディア:総合百科事典 新訂版』

秋山仁他監修 ポプラ社 2011年  
ISBN:9784591118665 ほか  
資料番号J0 /ホ/6-1 ほか 資料ID 13102532 ほか

9年ぶりの全面改訂となったポプラディア。収録項目には話題の最新情報から、地域・郷土学習にも役立つ情報まで盛りだくさんです。調べ学習の基本である百科事典。「索引」巻では5万語を調べることができます。眺めているだけでもたくさんの写真とわかりやすい解説で楽しいですよ。この本は、子ども達の知的好奇心をもっと深い探求の世界へ、きっと誘ってくれるはずです。



Pick up!



## その2 実践編:ストーリーテリングをやってみよう ～第2回スパイラル・セッション～

平成26年5月22日(木)、第2回スパイラル・セッションとして、ストーリーテリングの実践講座「ストーリーテリングをやってみよう」が開催されました。第1回で理論を学んだ成果をもとに挑戦したのは、8名の学生です。学生の実践のあと、講師の松尾福子先生に講評をいただき、ストーリーテリングに関する知識や技術をさらに深めることができました。参加者は、第1回同様、本学の学生約80名。会場のスパイラル・ラボは、今回も関心を持つ学生で満員となりました。以下に、実践に挑戦した学生の感想を掲載します。



講評を受ける、  
幼児教育コース4年 高橋唯さん



幼児教育コース4年  
山口 美郷

「うさぎとかめ」

この「うさぎとかめ」は、ストーリーがとても面白く覚えやすいものだったので、当日までに楽しく覚えることができました。幼稚園実習などで絵本の読み聞かせのほうに慣れてしまっているので、絵本のような、間をあげた語りになってしまったなと感じました。普段は誰もいないところで一人で練習をしていたので、当日聞いている人がたくさんいて緊張しましたが、聞いてくれる人がいる分、不思議なことに安心感がありました。貴重な機会をありがとうございました。今後実習や将来に生かしていけるよう頑張りたいです。



国語コース4年  
藤田 穂乃香  
「おはなしのろうそく4」より  
「あなのはなし」

「あなのはなし」を選んだ理由は、繰り返しが多くて覚えやすいそうだったのと、まさか!と思うような意表をつく結末が面白かったからです。実際に語ってみてとても緊張しましたが、話が進んでいくにつれてハラハラドキドキするみなさんの表情を見ながら語るのがとても楽しく、語りっていいなと思いました。お話を覚える作業は案外大変ではなく、頭の中にイメージができてしまえばあっという間でした。今回だけに限らず、たくさんのお話を語ることができるようにもっと練習して、これからも実践していきたいと思いました。



子ども文化コース2年  
鈴木 南美

「歌い骸骨」

「歌い骸骨」は、鹿児島や新潟に伝わる怪談です。今回このお話を選んだのは、子どもは「怖い話」を好み、ということと前回のスパイラル・セッションで学んだからです。でもこのお話は、本来ホラー的要素を持っている「骸骨」が人間らしさを持って描かれていたため、語るのを楽しめた反面、「怖い話」らしさを出すことに難しさを感じました。また、覚えることに留意した点は、文字の暗記にならないように自分なりによく情景をイメージしたこと。これからはさらに経験を積んで、子どもに豊かな世界を与えることができるストーリーテラーを目指したいです。



子ども文化コース2年  
高橋 舞優

「分福茶釜」

私が意識したのは、「いかに聞き手を物語『分福茶釜』へ誘い、物語の余韻を味わってもらうか」という点です。まず、絶対に言葉に突っからないようにしました。語り手が言葉に詰まった瞬間、聞き手は現実引き戻されるからです。終わり方にも気を配りました。本文中にはなかったですが、私は最後に「おしまい。」の一言をつけました。語りが終わったからと言って早急に切り上げては聞き手の余韻を奪ってしまうからです。昔話定番の締め言葉、「めでたしめでたし。」「おしまい。」の一言で物語と現実を結ぶことは重要だと考えます。



子ども文化コース1年  
小室 好

「ねことねずみ」

初めてストーリーテリングに挑戦しました。読み聞かせとは違い、声だけで聞いている人に物語を届けということが新鮮でした。「ねことねずみ」は、あるパターンが繰り返されるものだったので、止まらずに流れるように語るよう心がけました。

今回のストーリーテリングをするにあたり、たくさんのお話に出会いました。話すための話を見つけるのではなく、話して聞かせたいと思う話を見つけることができたと思っています。知らない物語に出会う嬉しさと、それを伝える楽しさを知ることができました。また挑戦したいと思います。



国語コース1年  
齋藤 薫

「ずいんとんさん」

今回、ストーリーテリングを体験して、まず最初に思ったことは、覚えるのが大変なことでした。私は小さいころから知っている「ずいんとんさん」という話を覚えましたが、内容を知っていても、実際に覚えるのは大変でした。また、昔話なので、私たちが普段は使っていない言葉があり、スムーズに話すのに苦労しました。しかし、実際にたくさんの方の前でやってみると、緊張しましたが、練習のときよりもすらすら話すことができ、楽しかったです。今回覚えた話を大切に、機会があれば、またやってみたいと思います。



国語コース1年  
中嶋 真吾  
「おはなしのろうそく9」より  
「世界でいちばんきれいな声」

「おはなし」は、とても特殊なものだと思います。物語に感情を込めて読むではありません。しかもそれでいて、物語の世界に子どもたちを惹きつけることができなければ、おはなしでなくなってしまいます。

私が「世界でいちばんきれいな声」を語ろうと決めたのは、子ガモと母親ガモの絆を、自分の境遇に当てはめて考えたからです。今回の活動を通して、おはなしそのものを好きになることが、おはなしの世界観を子どもたちに伝える原点にあるように思われました。もっともっと、子どもたちとおはなしに触れる機会に携わってみたいです。貴重な男子の語り手として、努力を続けます。ありがとうございました。



その3

## 実践編学外Ver: 仙台市民図書館でストーリーテリングを してみた

学内でストーリーテリングを実践したあとは実際に子どもたちの前でやってみよう、ということで、平成26年6月4日(水)、仙台市民図書館でのおはなし会で次の3名の学生が「おはなし」を披露してきました。初めての子どもたちの前での実践。新聞社やテレビ局の取材もあり、ちょっと緊張する中での実践でした。

小室好さん(子ども文化コース1年)「ねことねずみ」

中嶋真吾さん(国語コース1年)「世界でいちばんきれいな声」

鈴木南美さん(子ども文化コース2年)「コヨーテの怪物退治」

実践を終えて、小室さんは「とても緊張したが、子どものお話ができ楽しかった」とのこと。中嶋さんは「いつもと違う雰囲気、途中言い間違えもあったが、お話を語ることを心から楽しめた」、鈴木さんは「参加型のストーリーテリングを行い、動きもあって楽しくできた。今度はもっと子どもに目線を向けながら行いたい」と語っていました。三人とも、難しいストーリーテリングの技術をすでに自分のものにして、自ら「おはなし」を楽しんでいるようでした。

進行は子ども文化コース3年の佐野愛美さん、鈴木優里さん、三浦侑希江さん、吉田亜美さんの4名が行いました。自分たちで構成を考え、手作りマペットやペープサートを使って楽しくお話の紹介をしてくれました。司会の感想は次の通りです。

佐野愛美さん: 学生が行うストーリーテリングを初めて聞いて、そのクオリティーの高さに驚いたとともに、勉強になった。

鈴木優里さん: ストーリーテリングの物語展開を踏まえて司会を担当して楽しかった。学生がこのような発表するのは貴重な経験で良い機会だと思った。

三浦侑希江さん: ストーリーテリングは自分で想像することが魅力。今日司会をして、子どもの引きつけ方を考えた。この経験を今後の活動に生かしたい。

吉田亜美さん: おはなし会の構成を考えるのは、とても勉強になった。子どもたちが喜ぶ姿を想像しながらのペープサート作りも、とても楽しかった。

短い準備期間にもかかわらず、積極的に参加し、自らを高めようとする姿勢がとてもすてきな皆さんでした。

最後に、おはなし会に参加させてくださった仙台市民図書館の皆様にご礼申し上げます。ありがとうございました。



### 特別寄稿

## おはなしを語り続けて

松尾 福子

ストーリーテリングは、子どもに本の楽しさを手渡すための手段として、戦後、アメリカで図書館学を学んできた方たちによって、公共図書館の仕事の一つとして紹介されました。もちろんおはなしを語ること、昔話を語るとは、どこの国でもいつの時代でも、大人が子どもたちにやってきたことでした。しかし戦後、生活の急激な変化の中で、囲炉裏が消え、茶の間にテレビが入り、子どもが身近にいる大人からおはなしを聞く体験は急速に減っていきました。そのような中で、ストーリーテリングは子どもと本を結びつけたいと思っている人々に新鮮な形で受け入れられたように思います。

仙台でおはなしを語りたい人が集まって勉強を始めたのは、仙台手をつなぐ文庫の会の「おはなしの勉強会」が最初だったように思います。1986年のことです。もちろんその前からストーリーテリングをなさっていた方はいましたが、勉強会はこれが最初だったのではないかと思います。やっとおはなしを語る仲間が集まって勉強する場ができました。私にとってはこの勉強会が本格的におはなしを語るスタートになりました。それから約30年、おはなしに関心を持ち、おはなしを語ってみたいと思う人は、うれしいことに、仙台でもずいぶん増えました。

子どもにおはなしを届けたい、一緒におはなしを楽しみたい、そんな思いで始めたように思います。「子どものために」ということが出発点にあったと思うのですが、おはなしを語り始めて、これは語り手にとってもとても興味深い、貴重な体験だということに気づいていきました。同じおはなしを繰り返し語っているうちにおはなしが自分の体になじんでいくこと、語ることを通して、語り手もおはなしの世界を豊かに体験させてもらっていること、覚えたおはなしが一つ一つ自分の財産になっていくことなど、おはなしは、聞く子どもたちだけでなく、語り手本人をも豊かに育ててくれることに気がつくしました。おはなしの持つ不思議な魅力と言ってもいいように思います。

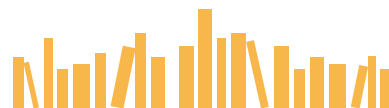
25年前から短大や大学で非常勤講師をさせていただいていますが、講義の前に毎回、おはなしをひとつ語ることにしています。おはなしを聞くことの楽しさを少しでも体験してもらえたらと思い、続けています。子どもにかかわる仕事をなさる方がおはなしに挑戦することはとても意味のあることだと思います。教室で先生におはなしを語ってもらえたら、子どもは本当に幸せです。

今回はスパイラル・セッションでお話をさせていただき、とてもいい機会をいただきました。沢山の方が参加してくださって、ストーリーテリングに対する関心の高さに驚きました。おはなしを覚えるという大変さがありますが、その労力を惜しまなければ、だれでも語り手になれると思います。どうぞおはなしに挑戦してみてください。

# 私と本

Book Talk

本学教員・職員の方々の  
本との付き合い方をご紹介します



理科教育講座  
准教授

西山 正吾

## アルハンブラ物語

春、8回目の引越を終えた。いつからか、荷物の中に本が増えてきた。ずっと小さな部屋に住んでいるから、そんなにたくさん本を置いておく場所はない。引越のたびに、残念だとは思いますが、ある程度の数の本を処分する。でも今の部屋にひとつだけ、同じタイトルの本が3冊ある。ワシントン・アーヴィングの『アルハンブラ物語』。

2010年夏、僕は初めての海外留学をした。留学といっても期間は3ヶ月。そのうち最初の1ヶ月は、南アフリカでの天体観測。学生のころから何度も行った場所だから慣れたものだった。この旅が特別だったのは、後半2ヶ月がスペイン・グラナダでの研究生活だったこと。そして妻と、おなかの中の子を日本に残してきたこと。

グラナダの町からは、世界遺産であるアルハンブラ宮殿が見える。8世紀から14世紀にかけて、イスラム教徒によって建てられた要塞。レコンキスタを完成させたキリスト教徒である女王イサベルが、埋葬を望んだ美しい城。アーヴィングは19世紀初めにアルハンブラ宮殿を訪れ、そこに住む人々を題材に、幻想的な世界を描いた。

僕がスペインで出会った人々も、『アルハンブラ物語』に劣らず多彩だった。僕を快く受け入れてくれた、まだ30代のドイツ人天文学者ライナー。ドイツ人のまじめさとスペイン人のおおらかさが気持ちよく入りまじっていた。宿の主人、トニー。平日のご飯は作ってくれるという約束だったが、恥ずかしそうにモジモジしながら、今日はこれでごめんねって冷凍ピザを渡されるのが、毎週金曜夜の恒例。ドイツに留学経験のあるスペイン人女性サナ。ドイツ人とスペイン人の性格はどう違うのか聞いてみたら、なぜか説教された。違いに目をむけちゃいけないって。彼女の夫は画家、貧しくも美にあふれた生活を送っている。同じ宿にいたヨルダンからの留学生の女の子ゼイナ。英語もスペイン語も不自由なく話し、次はドイツに行ってドイツ語を学び、外国語の教師になるのが夢だった。

グラナダ最後の日の夜、僕はアルハンブラ宮殿に向かった。ライトアップされた宮殿と敷地、おそらく、当時の面影を最も感じ取れる時間だと思う。遠く見えるアルバイシンの丘からは、フラメンコ音楽が聞こえてくる。そして帰国、その5日後、小さな、でも元気な男の子が生まれた。

## 名作が語りかけるもの～童話「オズの魔法使い」から～

38年間勤めた教職生活を定年退職し、この4月に宮教大に着任いたしました。小学校に勤務していた時、朝会講話や式辞などに、童話や名作などを紹介しながら、子どもたちへ話す機会が多くありました。その中から、一昨年の3月に書いた卒業文集巻頭言の一部を紹介します。

アメリカの国民的ファンタジーとして親しまれている名作に『オズの魔法使い』があります。このお話は、1900年にフランク・ボームが発表した作品で、自分の四人の幼子に語り聞かせた話の一つと言われています。映画化もされ、音楽“虹の彼方に”が愛唱されるほど世界で評判になりました。主人公の女の子ドロシーは、ある日竜巻によって家ごと空高く吹き上げられ、愛犬トトと共に不思議の国に着いてしまいます。そこは、オズの魔法使いの国。何でも願いを叶えてしまう力をもったオズ大王に、故郷カンザスに返してほしいと頼みに、大王の住むエメラルドの都をめざします。

旅の間に不思議な登場人物や冒険が連続し、大人も子供も胸躍らせる内容で、このお話の大きな魅力になっています。はじめに、わらで出来た“かかし”が登場。かかしは自分に脳みそがないので、オズ大王に脳みそをもらいたいと願います。次

に、ブリキで出来た“きこり”に会います。きこりは、心がないことを嘆き、オズ大王に心をもらおうとします。そして三番目に、臆病なライオンと出会います。ライオンは勇気がないことをばやき、勇気をもらおうとします。ドロシーは幾多の困難を乗り越え、やがておじさんとおばさんの住む我が家に帰れるのでした。

さて、このお話には大切なメッセージが隠されています。それは、人として毎日を明るく生きようとするとき、ドロシーのように大きな夢や希望をもって、何事にもすすんで立ち向かう大切さです。わらのかかしからは「知恵」を、ブリキのきこりからは「あたたかな心」を、そして臆病なライオンからは「勇気」をもつ大切さについて気付かされます。

このことは、苦しい時困難な時にこそ思い出してほしい大切な教えと言えるでしょう。

童話や名作と呼ばれる書籍に触れることは、大人にとっても、人としての大切な生き方を学ぶ機会として、改めて自分自身を見つめ、心のもち方や道徳心を養うことができる、よいひと時と考えています。



教育復興支援センター  
特任教授

堀越 清治

## 父のアトリエ

私が幼いころ、我が家は数回に渡り引越しを繰り返してきました。そんな借家住まいの中で、日当たりの一番良い部屋はいつも、絵描きである父の書斎兼アトリエとして確保されていました。この父の部屋は、子供たちが足を踏み入れることが憚られる、父の聖域のような場所でした。油絵具とタバコの煙が混ざり合った匂い、描きかけのキャンパス、無造作に壁に貼られたデッサン画の数々…。子供たちがこの部屋に呼ばれる時は、いつもいたずらが過ぎたりして母の手に負えなくなり、父に説教される時でした。そんな時、上目づかいに見上げる父の後ろに並ぶ父の蔵書…雑誌「世界」や哲学関係の書籍、世界現代文学全集などなどの赤茶けた背表紙たちも、父と一緒に厳しく自分を見つめているような錯覚を覚えたものです。

そんな両親が、幼い子供たちのために揃えてくれた多くの絵本は、今思うとそれぞれに珠玉の作品ばかりでした。また、やはり子供たちの部屋に揃えてくれた世界少年少女文学全集は、幼い想像力を無限に広げるのに大いなる手助けとなった気がします。でも、いつも私は父の蔵書が読めるようになりたいと漠然と考えていました。たまたま、父が留守の時にこっそりアトリエに忍び込んで

手にした本は、正直知らない漢字がたくさんあって、聞いたこともない難しい表現が満載で、幼い私には何が書いてあるのか理解することのできないものばかりでした。だからこそ、「いつか…」という思いが募っていったのかもしれませんが。

その夢がかなったのは、私が高校生になったころでした。ピアノのレッスンで上京する際の急行列車(当時はまだ東北新幹線は通っていませんでした)の中で読みふけたのが、父のアトリエから持ち出した『チボー家の人々』(ロジェ・マルタン・デュ・ガール)でした。かなり背伸びした挑戦だったし、心情描写も難解で、何度も読み返しながらという感じでしたから、上下2巻を読破するのにはかなりの時間を要しました。それでも、「やっと父の世界に足を踏み入れることができた」という喜びは、大きかった気がします。

今の私はと言うと、ここ数年のマイブームは頭をあまり使わない時代小説です。司馬遼太郎、藤沢周平、池波正太郎…もう、一人興奮しながら読みふけています。でも、振り返って考えると、私の読書に対する思いの原点は、あの幼いころに抱いていた父のアトリエの蔵書たちへの憧れだったような気がします。



教職大学院  
准教授

橋本 牧

## 読書の楽しみ

今年4月に赴任し、20数年ぶりに大学の図書館を利用できることをうれしく思っています。

子どものころは、足繁く学校の図書館に通い、本を借りては家で読むのが楽しみでした。今のようにゲームやスマホなどはない時代でしたから、家族そろって夕食を済ませた後は、決まった曜日の決まった番組を見る他は、もっぱら読書の時間でした。あまりに夢中になりすぎて、「早く寝なさい」と叱られながらも、布団に潜り込んで読んでいたことも多々ありました。大好きだったのは、『赤毛のアン』シリーズや『小公女』など…。本の世界に溶け込み、登場人物に自分を重ね合わせたりしながら新しい世界が広がる面白さを味わっていたのかなとも思います。

小学校時代、様々な本と出会う楽しさを教えてくれたのは、担任のI先生。教室には、普段手にとらない科学の本や日本の作家の本が置かれていました。帰りの会では、読み聞かせや新しい本を紹介してくれ、その本をいつでも貸してくれました。「みんな

が中学校に行くまでに読み終えるかな。」と言いながら、卒業前に読んでくれたのは山本有三の『路傍の石』。卒業までの出来事がこの本と併せて思い出されます。

また、そのころ我が家の誕生日やクリスマスのプレゼントは本でした。父の車で書店に行き、たくさん並んだ中から自分だけの一冊を選ぶときのうれしかったことといったら…。どんな本を自分の一冊にしようかと迷う楽しさがありました。

そんなこともあり、自分で選んだり紹介されたりしながら、今も様々なジャンルの本を手にとっては、同化したり共感したり想像を巡らせたりしながら読書を楽しんでいます。また、子どもと一緒に読む絵本や児童文学等の作品からは、自分が子どものころには気付かなかった発見ができるのも楽しいものです。

ただ、本と出会うということは、こちらから積極的に手にとることが求められます。これからも時間を生み出す工夫をしながら、上手に本とつきあっていきたいと思っています。



教職大学院  
准教授

小野寺 貴子

## 読書と音楽

「Sign」「旅立ちの唄」「祈り～涙の軌道」「REM」「放たれる」…。Mr.Childrenのこれらの楽曲の共通点は…そう、“書き下ろし”です。チルヲタ(Mr.Childrenヲタク)の私はタイアップが付いた映画(ドラマ)の原作を必ず読むことにしています。なかでも、劇団ひとり著した『青天の霹靂』と「放たれる」の相性は抜群でした。

主人公は学歴も、お金もない売れないマジシャン。ある時、青く晴れた空から落ちた雷に打たれると一昭和48年にタイムスリップしてしまう。そこで自らの出生の秘密を知ることになるのですが、男をつかって出て行ったと思っていた母が実は…。付き纏う寂しさや上手く事が進まないもどかしさ、背負ってしまった運命。そんな重く暗い場所にある心が解放たれていく場面に寄り添う最良のBGMでした。

さて、ここまでは趣旨に背き、音楽の話ばかりしてきましたが、本題に戻ります。ながら読書に対して、集中できない! 内容が頭に入ってこない! なんて声も聞こえてきそうですが、本の世界に入り込むことが容易になるという効果もあると思うのです。読書を楽しむためには、どれだけ自身とキャラクターを同一化できるかが重要なファクターになります。物語の完成度や展開の面白さに加えて、キャラクターの心の機微や作品の背景を想像することで、作り手の設定を越え、自分で設定をつくってしまうのです! 桜井さんが『青天の霹靂』を読んで、「ケージの中で傷を癒し、再び空に飛び立つ鳥」をイメージしたように! 音楽を聴きながら読書をすれば、見たこともない世界にすぐに飛び立つことができるのです。

(こんな本との付き合い方もあり!?)



教務課  
教育実習係

佐藤 篤



Inside story

# 宮教大図書館の裏話

うらばなし

宮城教育大学の方はログイン▼

宮教図書館ではいったいどのような業務が行われているのでしょうか？ その一部をつぶやきます！

## 第伍話

### 図書館昔話

図書に係る財務・統計調査  
図書館動続15年



目録業務  
図書館動続37年



目録業務ほか  
図書館動続40年



A

ここがあのLL教室だったとはにわかには信じ難いわね

H

現在のスパイラルラボは、改修前の多目的閲覧室の更には前は、Language Laboratory教室という名称で使われていましたね

A

名称が似ているのは偶然と聞いてビックリ！

H

LL教室では、個別のブース席にヘッドホンが備えられていて、カセットテープを使って各々英語の勉強等をしていただっけね

A

今こんな風に電子黒板なんかを使っている学生のみなさんは、カセットなんて知らないかも知れないね！



S

PCが当たり前の世の中だものね。私たちはちょうど、図書館業務がコンピュータ化される過渡期を体験したので、それはもう大変だったわね

H

それまでは手書きや、タイプライターなどを使って、背ラベルや目録カードに印字をしていたからね。活字を拾って入れ替える、なんていう作業はきつとイメージしにくいでしょう

S

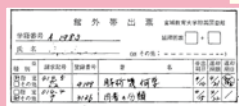
そういう変化の中でも一番大きかったのはやはり、コンピュータシステム導入によって図書館がそれぞれ目録を作るのではなく全国の大学図書館等で共通利用できるようオンラインで入力するようになったことね。資料の貸出も紙のカードじゃなくなったしね！

H

昔は貸出といえばカードに日付や名前などを記入して、それを管理していたのだけど、今では学生証と資料をバーコードリーダで読み込むだけで処理できてしましますもんね

S

そんな風にデータで管理するようになって、レファレンス(注)もだいぶん楽になった。本を探して欲しい人がカウンターに来たら、資料の情報をまとめてある目録カードというものを一枚ずつ確認していくか、冊子目録などを調べるか、あとは実際本棚の前に行ってにらめっこするしかなかった



A

専門職、て感じだったよね！  
今ではみんなパソコンで自分で探すことができるもの

H

もう珍しいことじゃないけど、学生アルバイトを起用して開館時間を延長させるのも導入当時はとても驚きましたね

A

本当に任せてしまっても大丈夫なの！？という思いが強かったね。最初の頃は必ず職員一人と組ませていたけど、マニュアルを整備してトレーニングを充実させてきたので任せられるようになってきたね

H

業務のやり方も、設備としても、時代に合わせて変わっていつてますよね

A

私たちの感覚でいえば、図書館は「静かにするところ」。今のスパイラル・ラボのように皆でワイワイやる場所になるとは考えられなかった！

S

でも2階は静かに勉強をするスペースになっていて、そういう本質的な部分はずっと残っていくと思うな

H

変わるところ、変わらないところがうまく融合しながら、学生の成長に負けないように図書館も成長していきたいですね

A

9月の改装での更なる変化に期待ね！

(注)カウンターに来た利用者の求めに応じて資料などを探すこと



スパイラル・ラボを活用中の三人→

## 本学教員等著作寄贈図書一覧 (平成25年4月～平成26年3月受贈分)

本田 伊克

[学校教育講座]

日本の学校受容：教育制度の社会史

共著 勁草書房／2012年

ベダゴジの社会学：バーンスタイン理論とその射程

共著 学文社／2013年

遠藤 仁

[国語教育講座]

とうほう方言の泉：ことばの玉手箱(上・中・下)

共著 河北新報出版センター／2013年

松岡 尚敏

[社会科教育講座]

東北防災復興入門：巨大災害と向き合う、あなたへ：災害復興学テキスト

編著 山形大学出版会／2013年

小野 元久

[技術教育講座]

基礎から学ぶ品質工学

編著 日本規格協会／2013年

田中 良英

[社会科教育講座]

新史料で読むロシア史

共著 山川出版社／2013年

神谷 拓

[保健体育講座]

東日本大震災と運動学：学校の統廃合をひかえた地域住民、教師、生徒の「意志」

神谷拓著 宮城教育大学／2013年

田幡 憲一

[教職大学院]

授業研究会「理科と活用」実施報告書

田幡憲一著 授業研究会「理科と活用」実行委員会／2013年

## 平成26年度図書館開館カレンダー

| 平成26年8月                    |    |    |    |    |    |    | 平成26年9月                |    |    |    |    |    |    | 平成26年10月                   |    |    |    |    |    |    | 平成26年11月 |    |    |    |    |    |    |
|----------------------------|----|----|----|----|----|----|------------------------|----|----|----|----|----|----|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 月                          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月                      | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月                          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月        | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |
|                            |    |    |    | 1  | 2  | 3  | 1                      | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |                            | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |    |          |    |    |    | 1  | 2  |    |
| 4                          | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 8                      | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 6                          | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 3        | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 11                         | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 15                     | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 13                         | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10       | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 18                         | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 22                     | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 20                         | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17       | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 25                         | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 29                     | 30 |    |    |    |    |    | 27                         | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    | 24       | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 平成26年12月                   |    |    |    |    |    |    | 平成27年1月                |    |    |    |    |    |    | 平成27年2月                    |    |    |    |    |    |    | 平成27年3月  |    |    |    |    |    |    |
| 月                          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月                      | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月                          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月        | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |
| 1                          | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |                        |    |    |    |    |    |    |                            |    |    |    |    | 1  |    |          |    |    |    |    |    |    |
| 8                          | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 5                      | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 2                          | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 2        | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 15                         | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 12                     | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9                          | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 9        | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 22                         | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 19                     | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16                         | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 16       | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 29                         | 30 | 31 |    |    |    |    | 26                     | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    | 23                         | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |    | 23       | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 通常開館 月曜日～金曜日 9:00～22:00    |    |    |    |    |    |    | 開館 土曜日・日曜日 10:00～17:00 |    |    |    |    |    |    | 休館日 国民の祝日・本学創立記念日(10/18)など |    |    |    |    |    |    |          |    |    |    |    |    |    |
| 開館 休業期間の月曜日～金曜日 9:00～17:00 |    |    |    |    |    |    | 休館日                    |    |    |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |    |    |          |    |    |    |    |    |    |
| 夏季休業…8/7～9/30              |    |    |    |    |    |    | 一斉休業…8/15前後            |    |    |    |    |    |    | 年末年始…12/27～1/4             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |    |    |    |    |



宮城教育大学附属図書館

こもれび No.126

【編集発行】  
宮城教育大学附属図書館  
運営委員会

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149

TEL:022-214-3350

E-mail:toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

附属図書館公式サイト

<http://library.miyakyo-u.ac.jp/>



このパンフレットは環境に配慮した「水なし印刷」により印刷しております。  
環境にやさしい植物油インク「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。